

## チンパンジーの喜ぶ顔が見てみたい ～環境エンリッチメント実習～



日時： 2013年8月20日(火) 9:00～12:00

場所： 京都市動物園

指導： 田中正之・和田晴太郎・板東はるな(京都市動物園 生き物・学び・研究センター)

松永雅之・島田かなえ(京都市動物園 種の保存展示課)

参加者：

高野中学校(SPP 連携校) 5名： 加藤輝(1年), 東洸樹(1年), 野崎侃太郎(2年), 佐路菖子(2年), 森下哲旺(2年)

一般応募： 吉村紗優賀(亀岡市立育親中学3年), 伊藤瑞穂(高槻市立芝谷中学1年), 村田優衣(樟蔭中学1年)・向井ひな(樟蔭中学1年), 保護者2名(吉村, 伊藤), 角谷晴世(樟蔭中学・引率教諭)

補助者：

博物館実習生 6名 (廣瀬いずみ, 友尻大幹, 木村加奈子, 松原明日香, 中田有美, 林裕美子)

山梨裕美(日本学術振興会特別研究員(PD)・京都大学野生動物研究センター)

石塚真太郎(京都大学農学部3年), 金子祐希(京都大学理学部2年)

内容： チンパンジーたちが暮らす、屋外グラウンドに入って、彼らの生活環境を感じる。そして、さまざまな工夫をして食べ物を置く。その後に、チンパンジーたちが食べ物を探し出し、取り出す様子を観察する。これらの取り組みを通して、動物福祉や環境エンリッチメントについて学ぶ。最後に、野生チンパンジーの映像を見て、野生の本来の暮らしを考えた。

\* 本実習は、JST サイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)として2013年度に京都市動物園が採択された「動物園大学～野生動物学のすすめ～」の中の1回として行われた。

\* 環境エンリッチメント実習の手順は、次ページの通り。

チンパンジーのよろこぶ顔が見てみたい  
in 京都市動物園

実施手順



果物や野菜を切る。



切った食べ物を枝にさして、実のなる枝を作る。



この他に、屋外運動場内の植栽に切った果物、野菜を付ける。



チンパンジーが喜んで食べているところを観察する。



部屋に戻って、環境エンリッチメントについて、野生チンパンジーの暮らしについて少し勉強します。  
終了は11時45分。



#### 実施後所感

(田中) 暑さが厳しい時期であったが、子どもたちは最後まで元気に参加してくれた。博物館実習生、京大ポケゼミ生、サンクチュアリ・プロジェクトの山梨氏の協力もあって、サポート体制も十分であった。内容としても、何回でもできる取組なので、次回開催についても検討する。